

平成27年度男子ユニバーシアード代表チーム 強化試合

開催場所: 国立代々木競技場第二体育館1

試合区分: No. 101 男

期 日: 2015(H27)年5月16日(土)

主審: 伊藤 恒

開始時間: 16:00

副審: 前田 喜庸、谷古宇 孝

終了時間: 17:31

ユニバーシアード日本代表候補 ○ 69	17 -1st- 17 15 -2nd- 20 21 -3rd- 13 16 -4th- 14 -OT1- -OT2- -OT3-	● 64	インターナショナルジャパン
--	---	--	---------------

ユニバーシアード日本代表候補チームとインターナショナルジャパンチームの強化試合。序盤、互いに点を取り合い、譲らない展開が続く。インターナショナルジャパンはダンクショットやリバウンドショットから加点し勢いに乗る。対してユニバーシアード日本代表候補はジャンパーを沈め喰らい付く。後半になってもどちらにも流れが傾くことはなく時間だけが進む。終盤、#6馬場のダンクで勢いづいたユニバーシアード日本代表候補が僅かにリードをつけタイムアップ。69-64、ユニバーシアード日本代表候補が勝利を収めた。

第1ピリオド、ユニバーシアード日本代表候補は#22原が外角から高確率でシュートを沈めスタートダッシュを決める。一方のインターナショナルジャパンは#9伊ッサがリバウンドからダンクを決め勢いに乗り、更に#12ジャニパプがリバウンドショットをしっかりと決め、リードを奪う。しかし、ユニバーシアード日本代表候補は#2満田のダブルクラッチから流れを掴み、得点を連取、すぐさま同点に。17-17、同点で第1ピリオド終了。

第2ピリオド、開始直後インターナショナルジャパンは#8馬が3Pシュート、#4王がバスケットカウントを決め、リードを得る。対するユニバーシアード日本代表候補は#14ベンドラメの技ありのスクープショットで喰らい付くが、すぐにインターナショナルジャパン#11畢のダンクシュートで入れ返されてしまい点差は変わらない。37-32、インターナショナルジャパンがリードし後半戦へ。

第3ピリオド、開始からユニバーシアード日本代表候補は#22原がジャンパーと3Pシュートを決めすぐさま試合を振り出しに戻す。その後両チームとも譲らず、点の取り合いが続く。中盤、インターナショナルジャパンは#4王がゴール下で得点を荒稼ぎし、僅かに抜け出す。ユニバーシアード日本代表候補は#14ベンドラメの鮮やかなパスワークや、#6馬場の豪快なダンクシュートも飛び出し、小気味良く加点し、逆転する。53-50、ユニバーシアード日本代表候補がリードし勝負は最終ピリオドへ。

第4ピリオドに入るも、ゲームの流れは変わらず、どっちつかずの状態が続き、ユニバーシアード日本代表候補#6馬場がダンクシュートを決めると、インターナショナルジャパン#12ジャニパプもダンクシュートを決め返すという展開となる。しかし、ユニバーシアード日本代表候補は#6馬場がこの日3本目のダンクシュートを決めると流れが僅かに傾き、リードを得る。インターナショナルジャパンは流れを引き戻そうとするも時間が足りずそのまま試合終了。69-64でユニバーシアード日本代表候補が辛くも勝利した。

担当者: 戸田 誠二(全日本大学バスケットボール連盟)